

パルシステムは 遺伝子組換えに

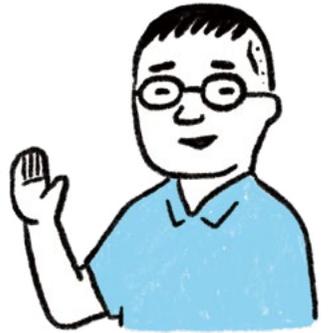
NO!



たくさんの食料を輸入に頼る日本では、遺伝子組換え作物を使った食品が気付かないうちに食卓にのぼっている可能性があることをご存じですか？
輸入された多くの作物は、そのままの姿だけではなく、加工されてさまざまな食品の原料になります。パルシステムでは国産原料の使用にこだわり、搬送・製造工程で遺伝子組換え作物が混ざり込まないプロセスを作り上げるなど、生産者やメーカーといっしょに商品づくりを行っています。また、組合員がそれを理解して選べるよう、「遺伝子組換えでない」「不使用」などのわかりやすい表示に努めてきました。食品表示基準の改定で、パルシステムの表示も一部変わることになります。今回はこれについてご説明します。

品質保証担当
相原正和

商品の原材料や製造工程をチェックし、その品質の管理をしています。



「遺伝子組換えでない」と表示するための基準が厳格化。

● 今までの「遺伝子組換えでない」表示
種まきから収穫の過程で遺伝子組換え作物が混ざらないよう管理（分別生産管理）していても、収穫中や輸送中に意図せずに混ざり込んでしまう可能性を考慮して、混入する割合が5%以下※であれば「遺伝子組換えでない」と表示することができました。

※大豆とうもろこしが対象。
ほかの作物は混ざらないことが前提。

● 今後の「遺伝子組換えでない」表示

2023年4月からはこの基準が厳しくなり、遺伝子組換え作物の混入がいっさいないと証明できた場合だけ、「遺伝子組換えでない」と表示できるようになります。ただ、実際にはこれを証明するのはとても困難です。

● 「分別している」という表示が可能に

混入がいっさいないと証明できないものでも、しっかりと分別生産管理を行い、意図しない混入が5%以下であれば、「遺伝子組換えの混入を防ぐため分別」など、分別して生産管理しているとわかるような表示をすることができます。

● 「遺伝子組換えでない」と表示できる基準

2023年3月まで

意図せずに遺伝子組換え作物が混ざる割合が5%以下であること

2023年4月から

遺伝子組換え作物がいっさい混ざっていないと証明できること

2023年3月末までが準備期間で、市販品も表示の切り替えが進められています



商品づくりへのこだわりは 今までどおり変わりません。

パルシステムの表示も国の新しい基準にそそえていくことになります。しかし原材料や製造方法など、商品自体は今までどおり。生産者やメーカーの努力を伝え、応援し続けていくことも変わりません。パッケージの原材料名欄は、順次切り替え中です。カタログのマークは2023年4月1日から新しくなります。

カタログの新マークは今後お知らせします



● パッケージの原材料名欄の変更例

原材料名：大豆（遺伝子組換えでない）

原材料名：大豆（遺伝子組換えの混入を防ぐため分別）

遺伝子組換え作物が混ざっていないと証明された場合

原材料名：大豆（遺伝子組換えでない）

流通が認められている 遺伝子組換え作物

日本での商業栽培は認められていませんが、9種類の作物の流通が認められています。これらをおもな原料とする食品のほか、豆腐や納豆など33の加工食品群では、遺伝子組換え作物が使用されている場合はそのことを表示しなければなりません。

大豆	とうもろこし	菜種
じゃがいも	綿実	アルファルファ
てん菜	パパイア	からし菜

しょうゆや油は最終的に組換えDNAが検出されないことで表示義務はないんです



「カタログ」に掲載されているマークについて

■ 遺伝子組換え表示 遺伝子組換え対象外の商品には表示しません。
※この表示の適用範囲は、水産、畜産、惣菜食品、冷凍食品、パン、牛乳、加工食品、調味料、飲料、菓子です。
※遺伝子組換え対象作物：大豆、とうもろこし、じゃがいも、菜種、綿実、アルファルファ、てん菜、パパイア

不使用 原料のすべてにおいて遺伝子組換え原料を使用していない

主原料不使用 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものは非遺伝子組換え原料を使用。ただし、5%未満の原料に分別の原料が使われている

副原料不分別 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものは遺伝子組換え対象外の原料を使用。ただし、5%未満の原料に分別の原料が使われている

不分別 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものに、不分別の原料が使われている

pal パルシステムが独自開発したオリジナル商品

産直 産直の精肉および100%提携産地の水産品

リユース・リサイクルするもの（紙バック・びん類・野菜の通い箱等）

組合員開発 組合員による商品開発チームなどが、商品開発に協力した商品

産直原料 主原料で、かつ当該商品を製造するうえで不可欠な原料に産直品を使用しており、かつその原料が100%産直品の加工品

プラ削減 容器包装や付属（ストローなど）のプラスチック削減に取り組んだ商品

■ アレルゲンの表示 アレルギーのある方は、商品包材の表示を必ずご確認ください。

表示品目	卵	乳	小麦	そば	落花生	えび	かに	大豆
表示方法	卵	乳	麦	そ	落	え	か	豆

青果・米・卵・酒・非食品を除くすべての商品のうち、原材料に特定原材料7品目と大豆が含まれている商品には、その品目名を略称で表示しています。
※大豆を除く特定原材料に準ずる20品目については、表示していません。
※コンタミネーション表示については、特定原材料7品目と大豆で、かつ製造者から情報提供をいただいた商品のみの表示となっています。（乳）（そ）のように（ ）で表示しています。

配達・利用についてのお問い合わせ ※通話料は無料です。

■ 配達、交換、返品、請求関係、休止、住所変更など
パルシステム東京・パルシステム神奈川・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき【パルシステム問合せセンター】

0120-868-014

パルシステム ヘルプ 検索

月～金曜日：9時～20時
土曜日：9時～17時

パルシステム山梨
甲斐センター ■ 0120-28-5891
西桂センター ■ 0120-32-1061
一宮センター ■ 0120-21-9898

パルシステム群馬
高崎センター ■ 0120-60-5118
渋川センター ■ 0120-36-3315
東毛センター ■ 0120-63-3735

商品についてのお問い合わせ

■ 原材料、賞味期間、使い方、レシピ など

【商品情報ダイヤル】

0570-011-099

月～金曜日：10時～17時

お問い合わせをいただいた際、お名前、組合員番号、電話番号を伺います。

※ナビダイヤルは有料です。パルシステムの配達エリアからは固定電話の場合、一律1分10円＋消費税でご利用いただけます。携帯電話の場合は、ご本人の利用プランにより料金が異なります。

その他のお問い合わせ ※通話料は無料です。

■ 欠品情報自動お知らせダイヤル
0120-829-804 (受付時間：注文用紙提出日翌18時～商品配達日前日)
※欠品情報案内後にあらたに欠品が発生する場合があります。

■ CO・OP共済
コープ共済センター
0120-50-9431 月～土曜日：9時～18時

■ 各種保険
共済連保険事務センター
0120-201-342 月～金曜日：9時～17時30分

■ カタログ「Caica(かいか)」チケット、雑誌年間購読、教材、国内旅行など
■ カタログ「スクエア住まいとくらし」新築・リフォーム、太陽光発電、シロアリ防除、エアコンクリーニングなど住まいとくらしのサービス

サービス事業課 0120-114-312 月～金曜日：10時～17時

パルシステムは 遺伝子組換えに

NO!



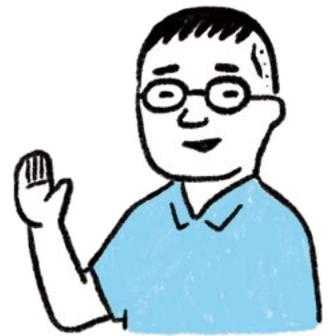
たくさんの食料を輸入に頼る日本では、遺伝子組換え作物を使った食品が気付かないうちに食卓にのぼっている可能性があることをご存じですか？

輸入された多くの作物は、そのままの姿だけではなく、加工されてさまざまな食品の原料になります。パルシステムでは国産原料の使用にこだわり、搬送・製造工程で遺伝子組換え作物が混ざり込まないプロセスを作り上げるなど、生産者やメーカーといっしょに商品づくりを行っています。

また、組合員がそれを理解して選べるよう、「遺伝子組換えでない」「不使用」などのわかりやすい表示に努めてきました。食品表示基準の改定で、パルシステムの表示も一部変わることになります。今回はこれについてご説明します。

品質保証担当
相原正和

商品の原材料や製造工程をチェックし、その品質の管理をしています。



「遺伝子組換えでない」と表示するための基準が厳格化。

● 今までの「遺伝子組換えでない」表示

種まきから収穫の過程で遺伝子組換え作物が混ざらないよう管理（分別生産管理）していても、収穫中や輸送中に意図せずに混ざり込んでしまう可能性を考慮して、混入する割合が5%以下※であれば「遺伝子組換えでない」と表示することができました。

※大豆とうもろこしが対象。
ほかの作物は混ざらないことが前提。

● 今後の「遺伝子組換えでない」表示

2023年4月からはこの基準が厳しくなり、遺伝子組換え作物の混入が**いっさいない**と証明できた場合だけ、「遺伝子組換えでない」と表示できるようになります。ただ、実際にはこれを証明するのはとても困難です。

● 「分別している」という表示が可能に

混入が**いっさいない**と証明できないものでも、しっかりと分別生産管理を行い、意図しない混入が5%以下であれば、「遺伝子組換えの混入を防ぐため分別」など、分別して生産管理しているとわかるような表示をすることができます。

● 「遺伝子組換えでない」と表示できる基準

2023年3月まで

意図せずに遺伝子組換え作物が混ざる割合が5%以下であること

2023年4月から

遺伝子組換え作物が**いっさい混ざっていないと証明**できること

2023年3月末までが準備期間で、市販品も表示の切り替えが進められています



商品づくりへのこだわりは今までどおり変わりません。

パルシステムの表示も国の新しい基準にそそえていくことになります。しかし原材料や製造方法など、商品自体は今までどおり。生産者やメーカーの努力を伝え、応援し続けていくことも変わりません。パッケージの原材料名欄は、順次切り替え中です。カタログのマークは2023年4月1日から新しくなります。

カタログの新マークは今後お知らせします



● パッケージの原材料名欄の変更例

原材料名：大豆（遺伝子組換えでない）

原材料名：大豆（遺伝子組換えの混入を防ぐため分別）

遺伝子組換え作物が混ざっていないと証明された場合

原材料名：大豆（遺伝子組換えでない）

流通が認められている 遺伝子組換え作物

日本での商業栽培は認められていませんが、9種類の作物の流通が認められています。これらをおもな原料とする食品のほか、豆腐や納豆など33の加工食品群では、遺伝子組換え作物が使用されている場合はそのことを表示しなければなりません。

大豆	とうもろこし	菜種
じゃがいも	綿実	アルファルファ
てん菜	パパイア	からし菜

しょうゆや油は最終的に組換えDNAが検出されないことで表示義務はないんです

「カタログ」に掲載されているマークについて

■ 遺伝子組換え表示 遺伝子組換え対象外の商品には表示しません。
※この表示の適用範囲は、水産、畜産、惣菜食品、冷凍食品、パン、牛乳、加工食品、調味料、飲料、菓子です。
※遺伝子組換え対象作物・大豆、とうもろこし、じゃがいも、菜種、綿実、アルファルファ、てん菜、パパイア

不使用 原料のすべてにおいて遺伝子組換え原料を使用していない

主原料不使用 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものは非遺伝子組換え原料を使用。ただし、5%未満の原料に分別の原料が使われている

副原料不分別 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものは遺伝子組換え対象外の原料を使用。ただし、5%未満の原料に分別の原料が使われている

不分別 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものに、不分別の原料が使われている

pal パルシステムが独自開発したオリジナル商品

産直 産直の精肉および100%提携産地の水産品

リユース・リサイクルするもの (紙バック・びん類・野菜の通い箱等)

組合員開発 組合員による商品開発チームなどが、商品開発に協力した商品

産直原料 主原料で、かつ当該商品を製造するうえで不可欠な原料に産直品を使用しており、かつその原料が100%産直品の加工品

プラ削減 容器包装や付属（ストローなど）のプラスチック削減に取り組んだ商品

アレルギーの表示 アレルギーのある方は、商品包材の表示を必ずご確認ください。

表示品目	卵	乳	小麦	そば	落花生	えび	かに	大豆
表示方法	卵	乳	麦	そ	落	え	か	豆

青果・米・卵・酒・非食品を除くすべての商品のうち、原材料に特定原材料7品目と大豆が含まれている商品には、その品目名を略称で表示しています。
※大豆を除く特定原材料に準ずる20品目については、表示していません。
※コンタミネーション表示については、特定原材料7品目と大豆で、かつ製造者から情報提供をいただいた商品のみの表示となっています。(乳)(卵)のように()で表示しています。

配達・利用についてのお問い合わせ ※通話料は無料です。

■ 配達、交換、返品、請求関係、休止、住所変更など

パルシステム東京・パルシステム神奈川・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき

【パルシステム問合せセンター】

0120-868-014

※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨
甲斐センター ■ 0120-28-5891
西桂センター ■ 0120-32-1061
一宮センター ■ 0120-21-9898

パルシステム群馬
高崎センター ■ 0120-60-5118
渋川センター ■ 0120-36-3315
東毛センター ■ 0120-63-3735

※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。

商品についてのお問い合わせ

■ 原材料、賞味期間、使い方、レシピ など

【商品情報ダイヤル】

0570-011-099

※ナビダイヤルは有料です。パルシステムの配達エリアからは固定電話の場合、一律1分10円+消費税でご利用いただけます。携帯電話の場合は、ご本人の利用プランにより料金が異なります。

その他のお問い合わせ ※通話料は無料です。

■ 欠品情報自動お知らせダイヤル

0120-829-804 (受付時間：注文用紙提出日翌18時～商品配達日前日)
※欠品情報案内後にあらたに欠品が発生する場合があります。

■ CO・OP共済
コープ共済センター
0120-50-9431 月～土曜日：9時～18時

■ 各種保険
共済連保険事務センター
0120-201-342 月～金曜日：9時～17時30分

■ カタログ「Caica(かいか)」チケット、雑誌年間購読、教材、国内旅行など
■ カタログ「スクエア住まいとくらし」新築・リフォーム、太陽光発電、シロアリ防除、エアコンクリーニングなど住まいとくらしのサービス

サービス事業課 0120-114-312 月～金曜日：10時～17時